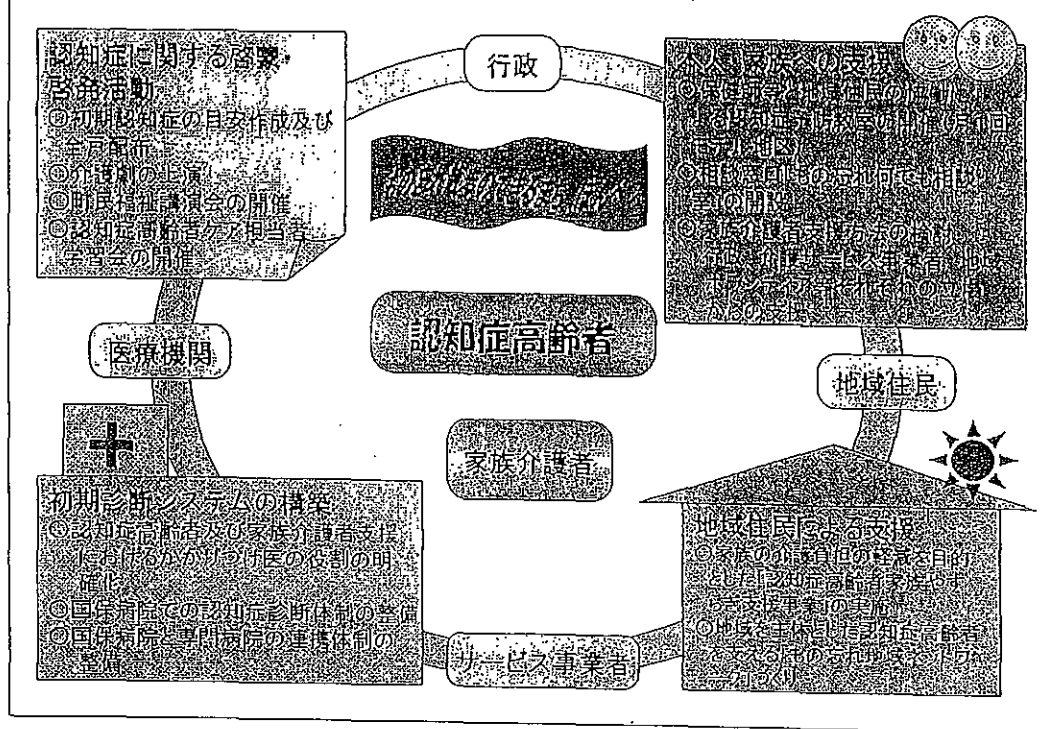


本別町認知症高齢者支援システム



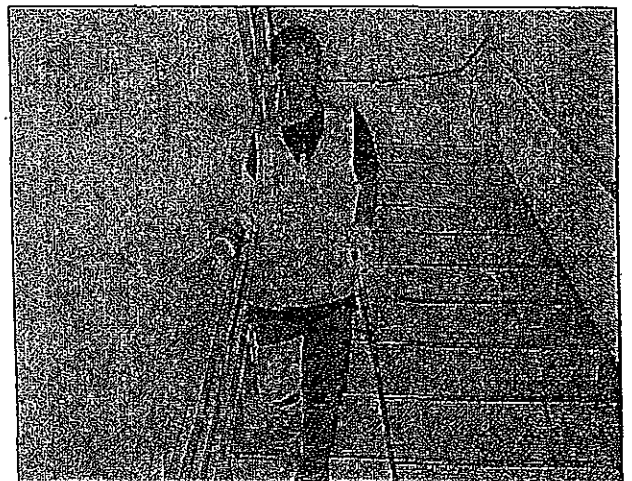
本町はこれまで、「啓蒙・啓発活動」「初期診断・医療連携」「本人・家族支援」「地域住民による支援」の大きく分けて4分野について事業展開するとともに検討してきた。その中で、行政・医療機関・サービス事業者・地域住民がそれぞれの役割を果たし、しかも連携することの重要性を改めて実感しました。また、これまで、認知症予防教室、創作介護劇、やすらぎ支援事業など地域住民との協働事業に取り組んできました。これまでは医療・福祉の問題ととらえられていた認知症の問題を地域住民とともに考え事業化してきたことで、住民の意識が徐々に変化し、認知症は「地域の問題」になりつつあります。さらに、行政や介護サービスでは対応できない、近隣ならではの領域を地域住民が担うことで、厚みのある支援が可能になったと考えます。

2004年6月
今年も介護劇の
季節がやってきた

キーワード
やさしい技術
中学生

本別中学校
総合的な学習の時間
介護・福祉コース

からだ^が
動かない。。





高齢者と お話をする

